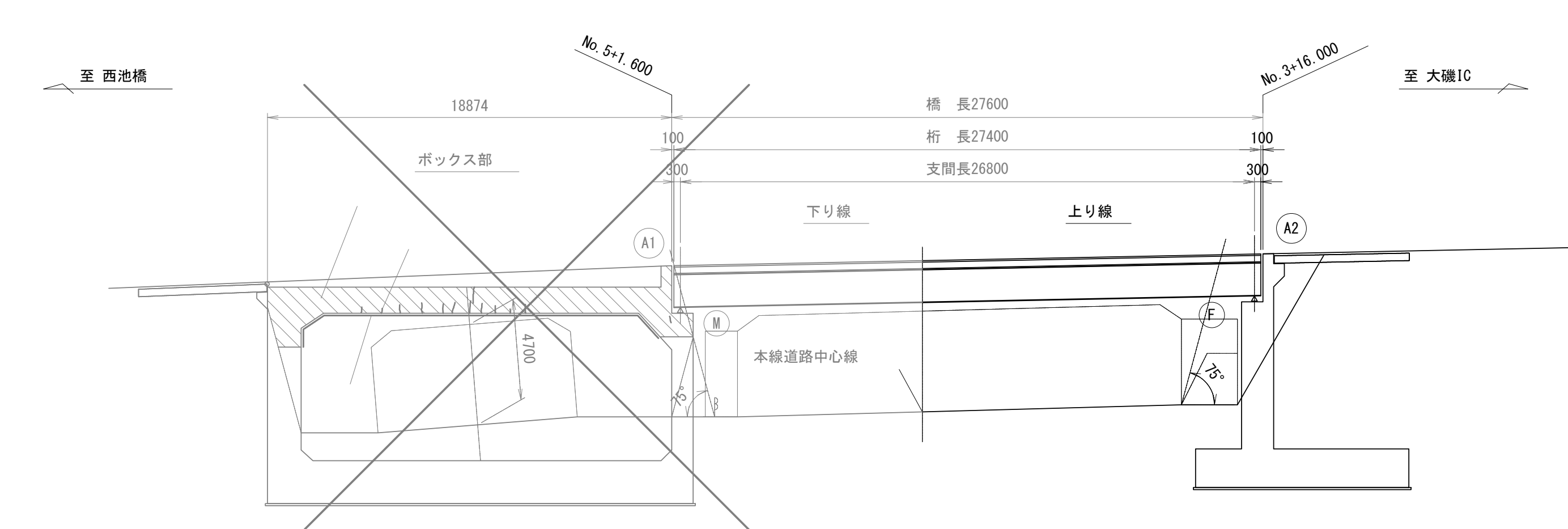


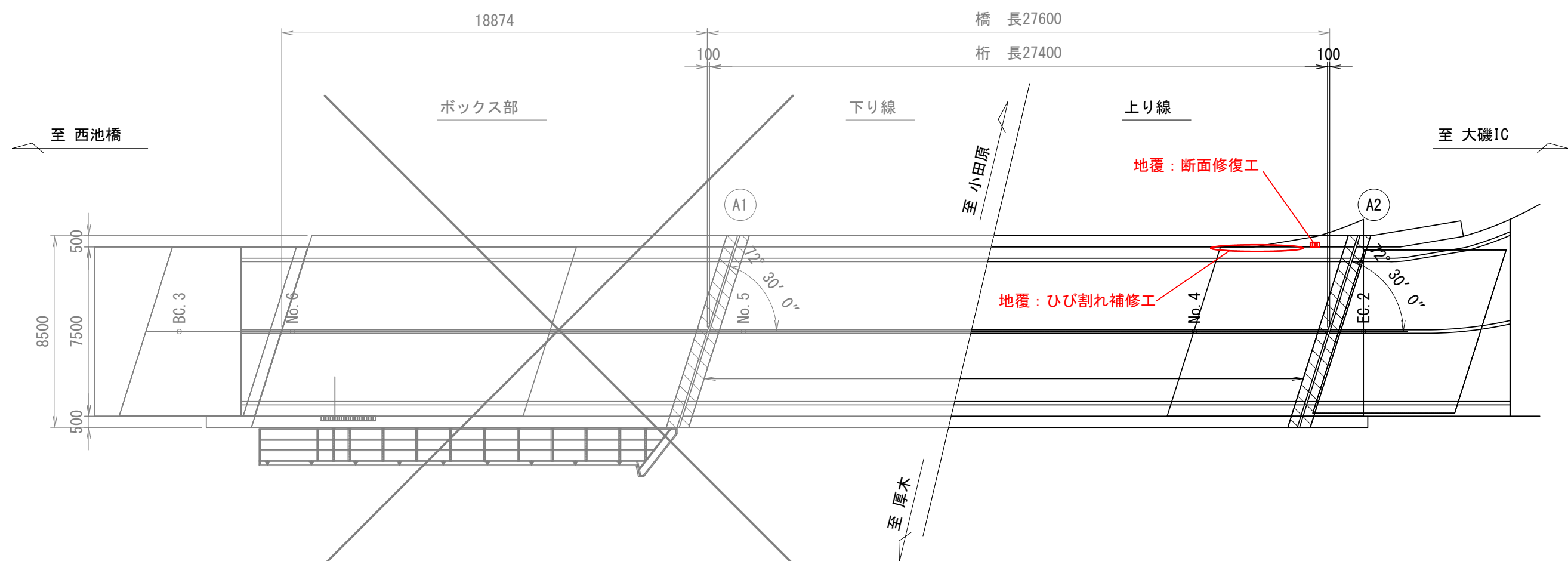
補 修 一 般 図

生沢架道橋

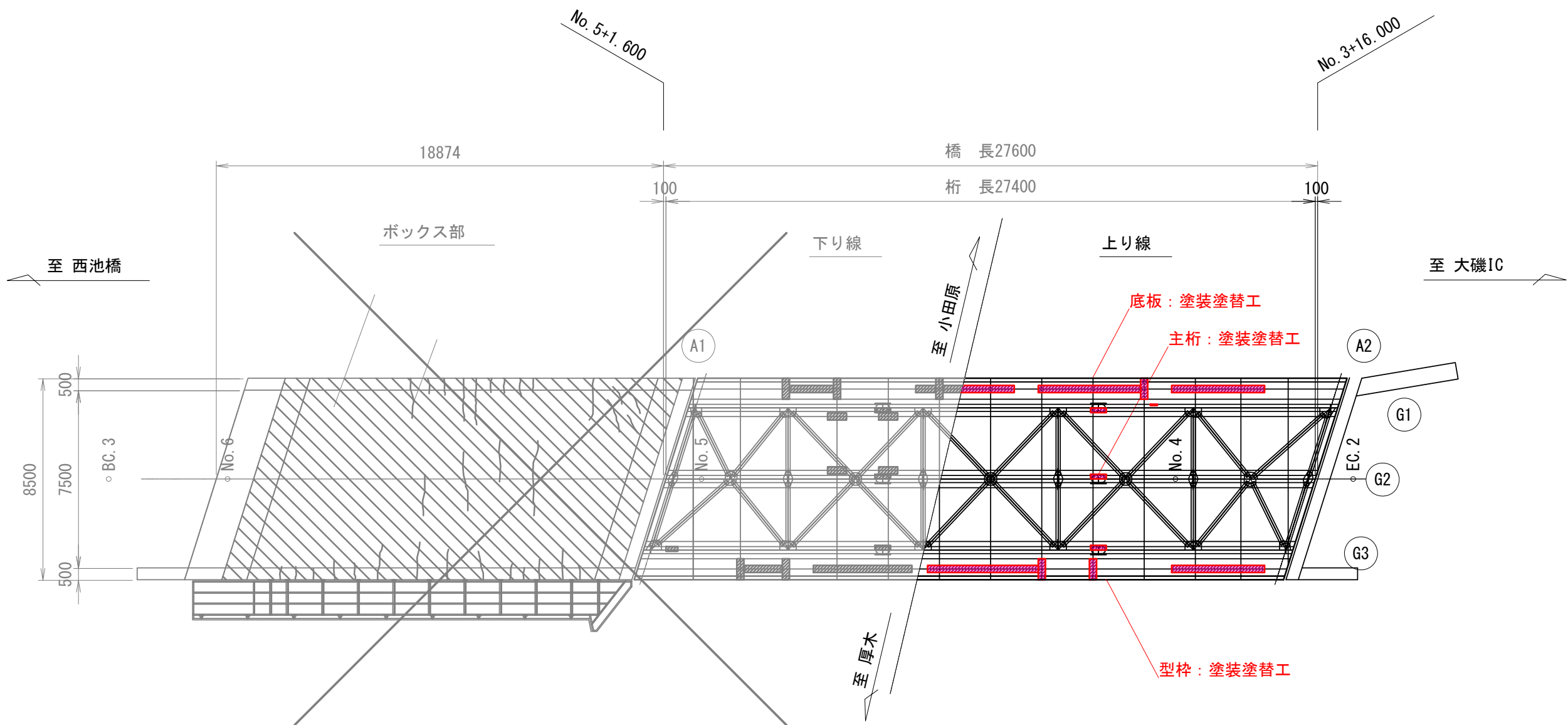
側 面 図 S=1:200 (A1)
S=1:400 (A3)



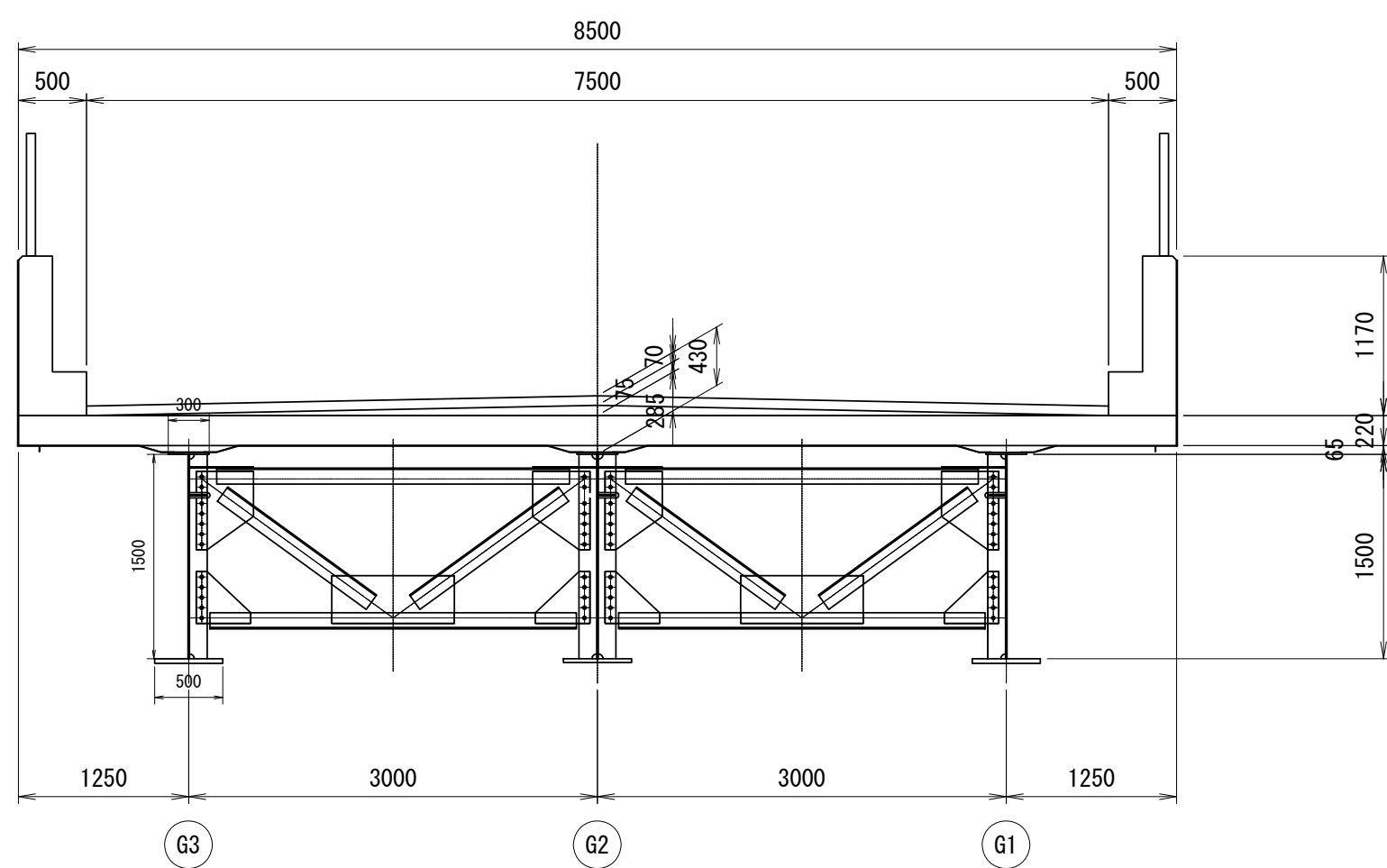
平 面 図 (上 面) S=1:200 (A1)
S=1:400 (A3)



平 面 図 (下 面) S=1:200 (A1)
S=1:400 (A3)



上部工断面図 S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



橋梁諸元

路線名	大磯町道幹線27号線	
橋 長	27.600 m	
桁 長	27.400 m	
道路規格	第3種第3級	
荷 重	B活荷重	
支 間	26.800 m	
形 式	鋼単純合成鉄桁橋	
有効幅員	7.500 m	
斜 角	72° 30' 00"	
横断勾配	2.0 %	
縦断勾配	2.0 %	
設計震度	水平震度 kh= 0.2	
鋼 材	SS400, SM490Y	
コンクリート	床版	σ _{ck} =35N/mm ²
	下部工	σ _{ck} =24N/mm ²
鉄 筋	SD345	
適用示方書	道路橋示方書・同解説 平成 8年 12月	

補修内容

対象部材	損傷内容	対策工
主桁	腐食	塗装塗替工
地覆	ひびわれ、変形・欠損	ひび割れ補修工・断面修復工
底板	漏水・遊離石灰	塗装塗替工
型枠	腐食	塗装塗替工

塗装仕様(既設メッキ面) (はけ、ローラ)

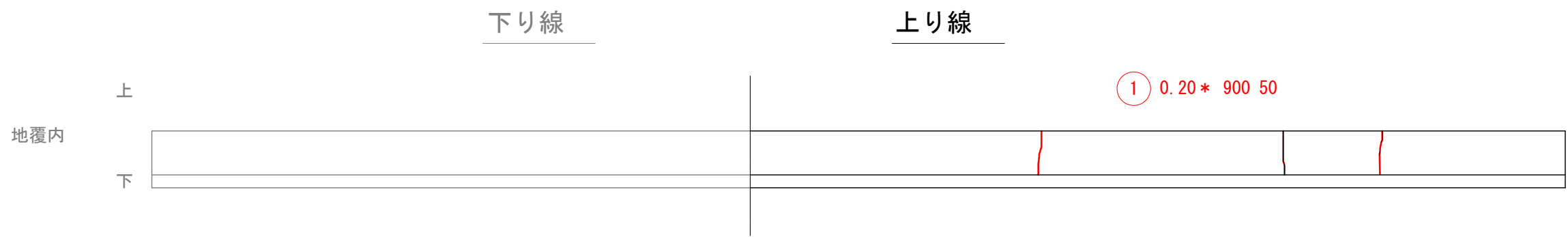
塗装工程	塗料名	単位使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	3種ケレン	—	4時間以内
下 塗	1液性無溶剤・無機質フタング材	130	2時間～24時間
上 塗	1液性無溶剤・無機質フタング材	140	

工事名	橋梁長寿命化修繕工事(生沢架道橋他1橋)		
施工箇所	大磯町 生沢 地先		
図面名	生沢架道橋 補修一般図		
縮尺	図 示	図面番号	1/7
大磯町 都市建設部 道路課			

補修工詳細図

生沢架道橋

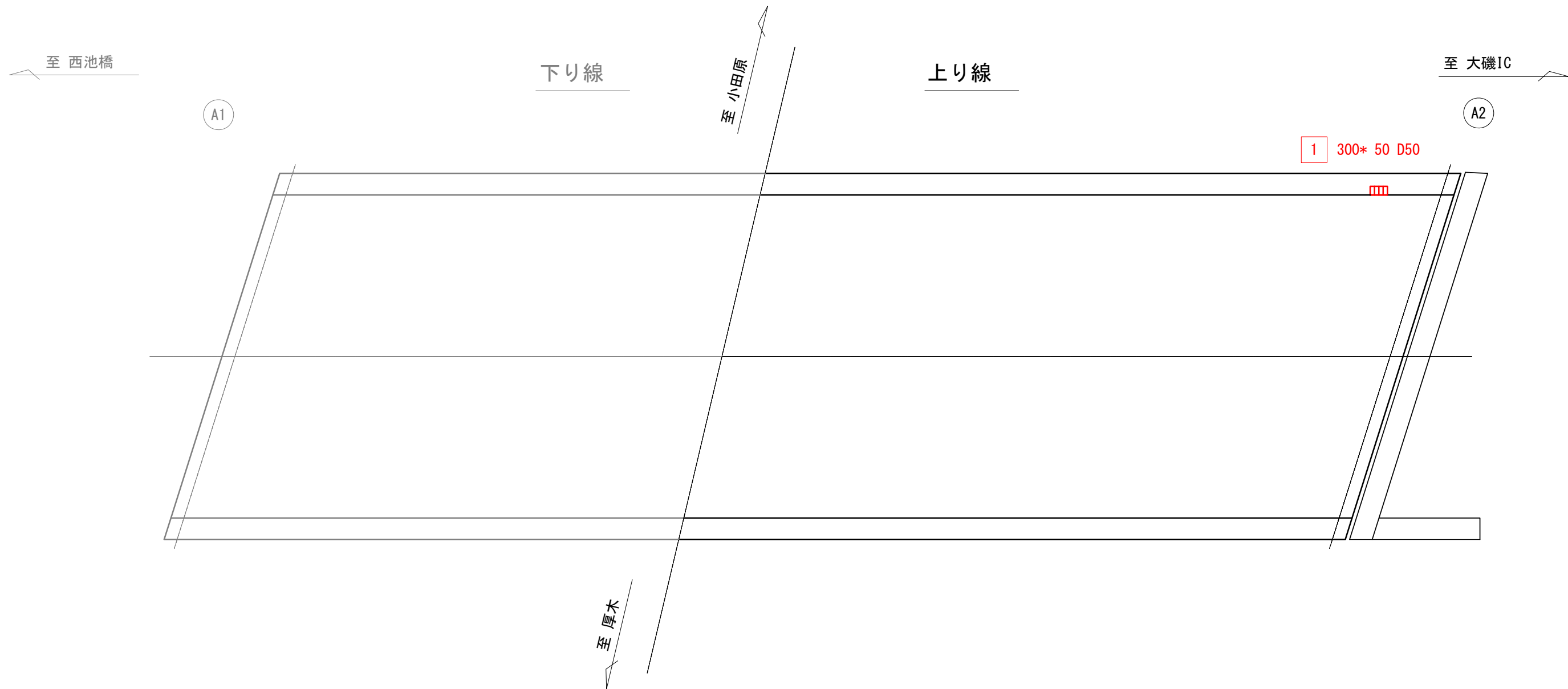
橋面 平面図
S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



上部工：ひび割れ補修工

部材	No	補修名	損傷名	損傷数量			箇所数	面積 (m2)	体積 (m3)
				幅	長さ	深さ			
				(mm)	(mm)	(mm)			
地覆	1	ひび割れ補修工	ひびわれ	0.20	900	50	3	0.00015	0.00001
合計				2700				0.000015	0.00001

※ ① 数字はひびわれ注入工箇所を表す。

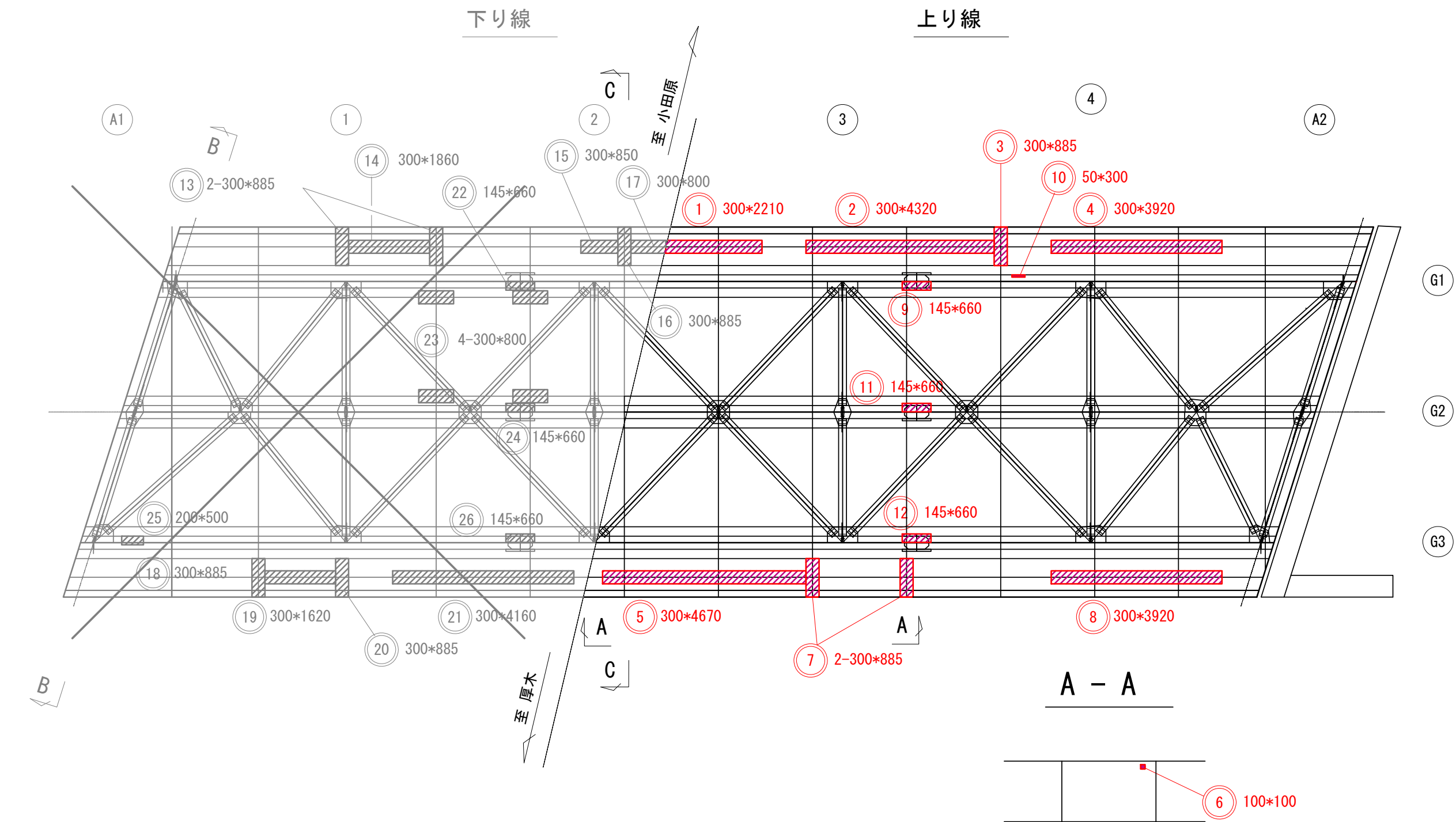


上部工：断面修復工

部材	No	補修名	損傷名	損傷数量			箇所数	面積 (m2)	体積 (m3)
				幅	長さ	深さ			
				(mm)	(mm)	(mm)			
地覆	1	断面修復工	変形・欠損	300	50	50	1	0.015	0.001
合計								0.015	0.001

※ ① 数字は断面修復工箇所を表す。

桁下 平面図
S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



上部工：塗装塗替工

部材	No	補修名	損傷名	損傷数量		箇所数	面積 (m2)
				幅	長さ		
				(mm)	(mm)		
底板	1	塗装塗替え	漏水・遊離石灰	300	2210	1	0.7
底板	2	塗装塗替え	漏水・遊離石灰	300	4320	1	1.3
底板	3	塗装塗替え	漏水・遊離石灰	300	885	1	0.3
底板	4	塗装塗替え	漏水・遊離石灰	300	3920	1	1.2
底板	5	塗装塗替え	漏水・遊離石灰	300	4670	1	1.4
型枠	6	塗装塗替え	漏水・遊離石灰	100	100	1	0.01
底板	7	塗装塗替え	漏水・遊離石灰	300	885	2	0.5
底板	8	塗装塗替え	漏水・遊離石灰	300	3920	1	1.2
主桁	9	塗装塗替え	漏水・遊離石灰	145	660	1	0.1
主桁	10	塗装塗替え	漏水・遊離石灰	50	300	1	0.02
主桁	11	塗装塗替え	漏水・遊離石灰	145	660	1	0.1
主桁	12	塗装塗替え	防食機能の劣化	145	660	1	0.1
合計							6.93

※ ① 数字はひびわれ塗装塗替工箇所を表す。

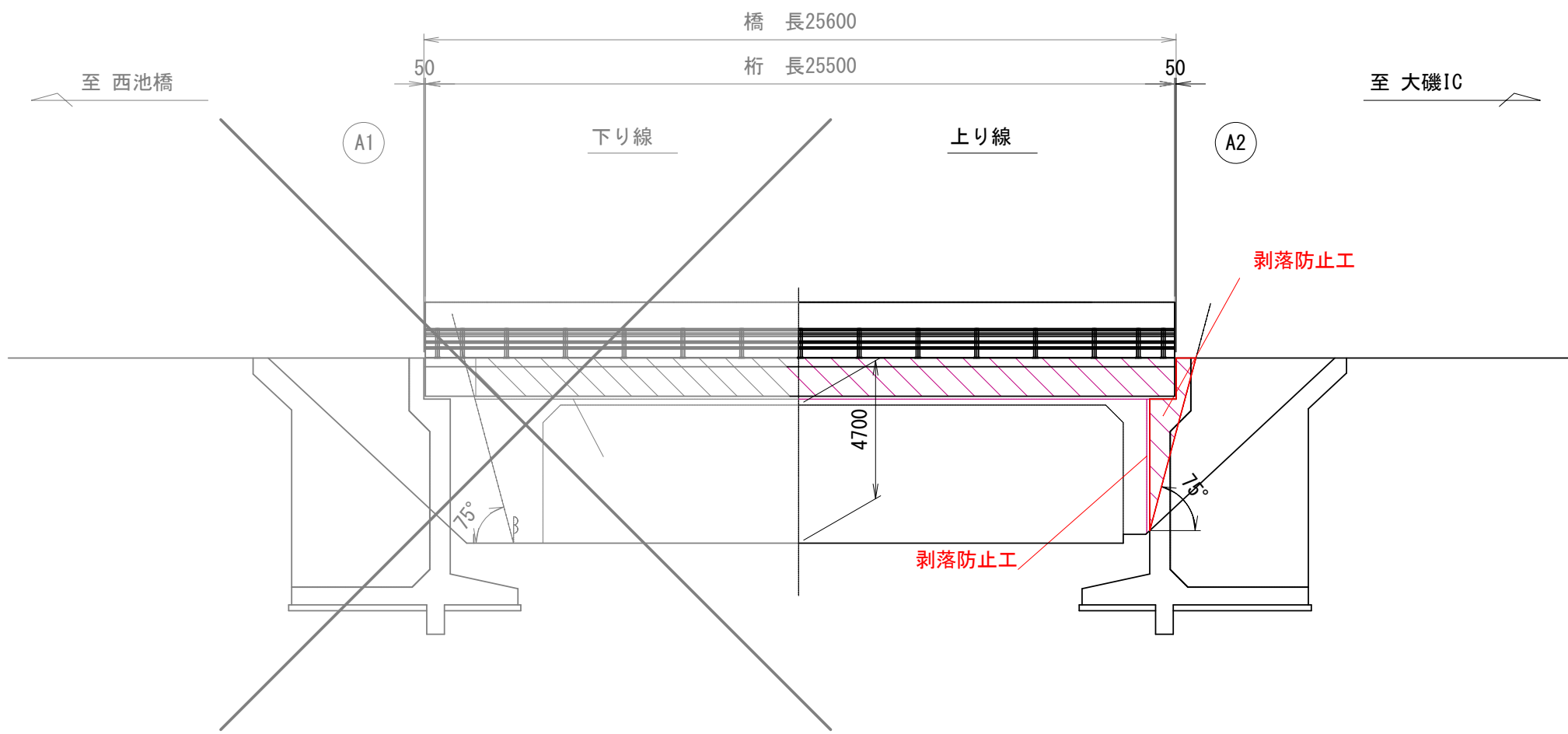
損傷の凡例

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰	
剥 離		漏 水	
鉄筋露出		その他	
うき			

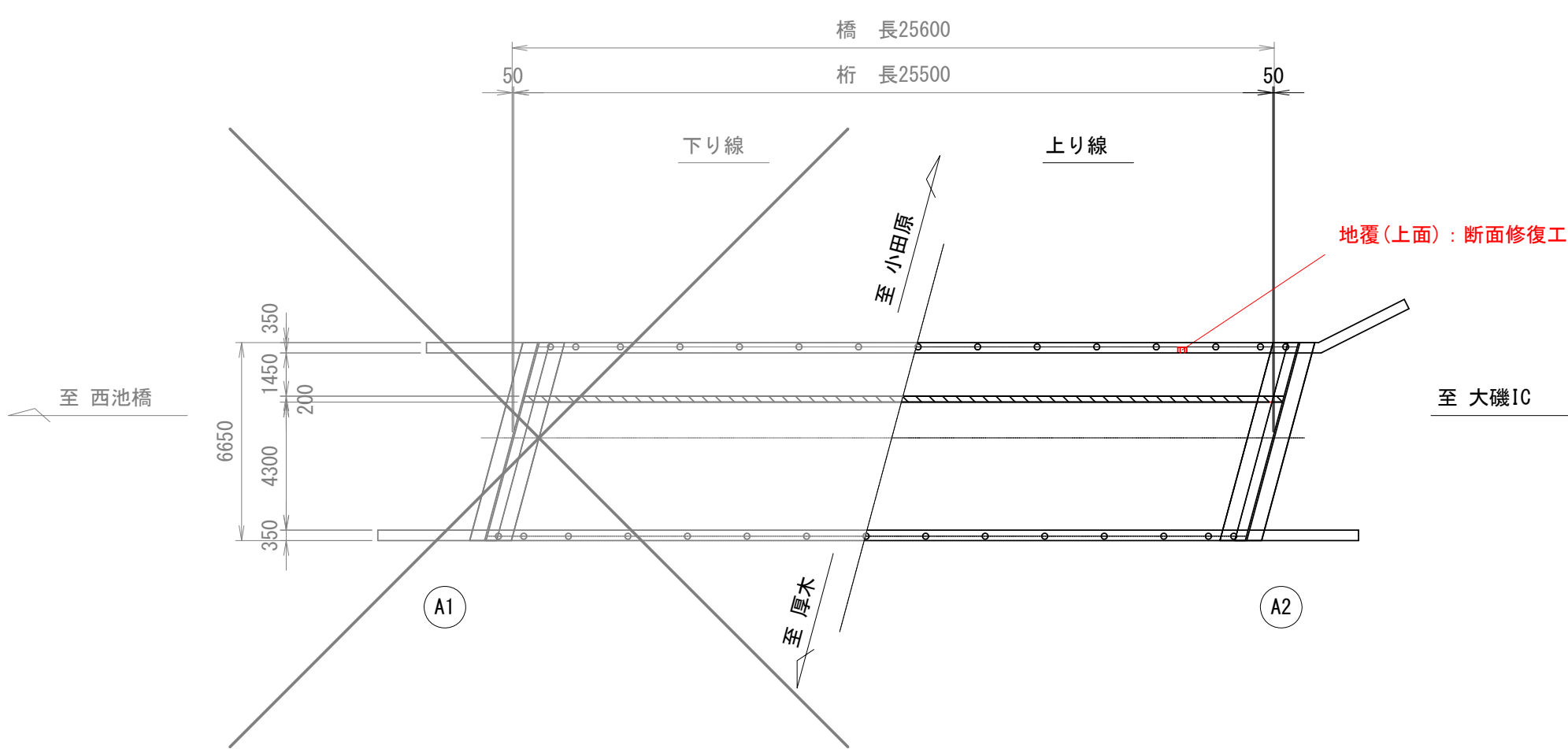
工事名	橋梁長寿命化修繕工事(生沢架道橋他1橋)		
施工箇所	大磯町 生沢 地先		
図面名	補修工詳細図 生沢架道橋		
縮尺	図 示	図面番号	2/7
大磯町 都市建設部 道路課			

補修一般図
生沢架道橋(旧)

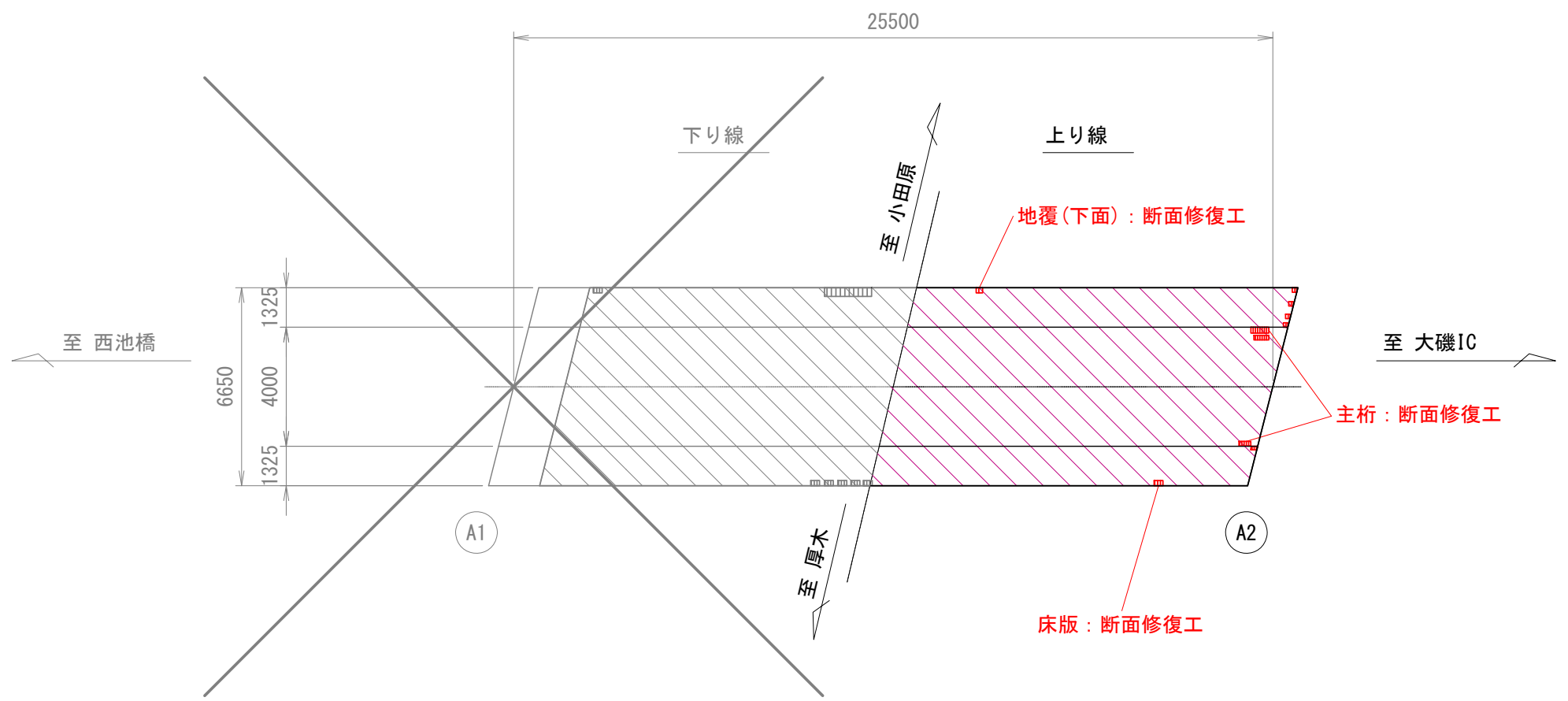
側面図
S=1:200 (A1)
S=1:400 (A3)



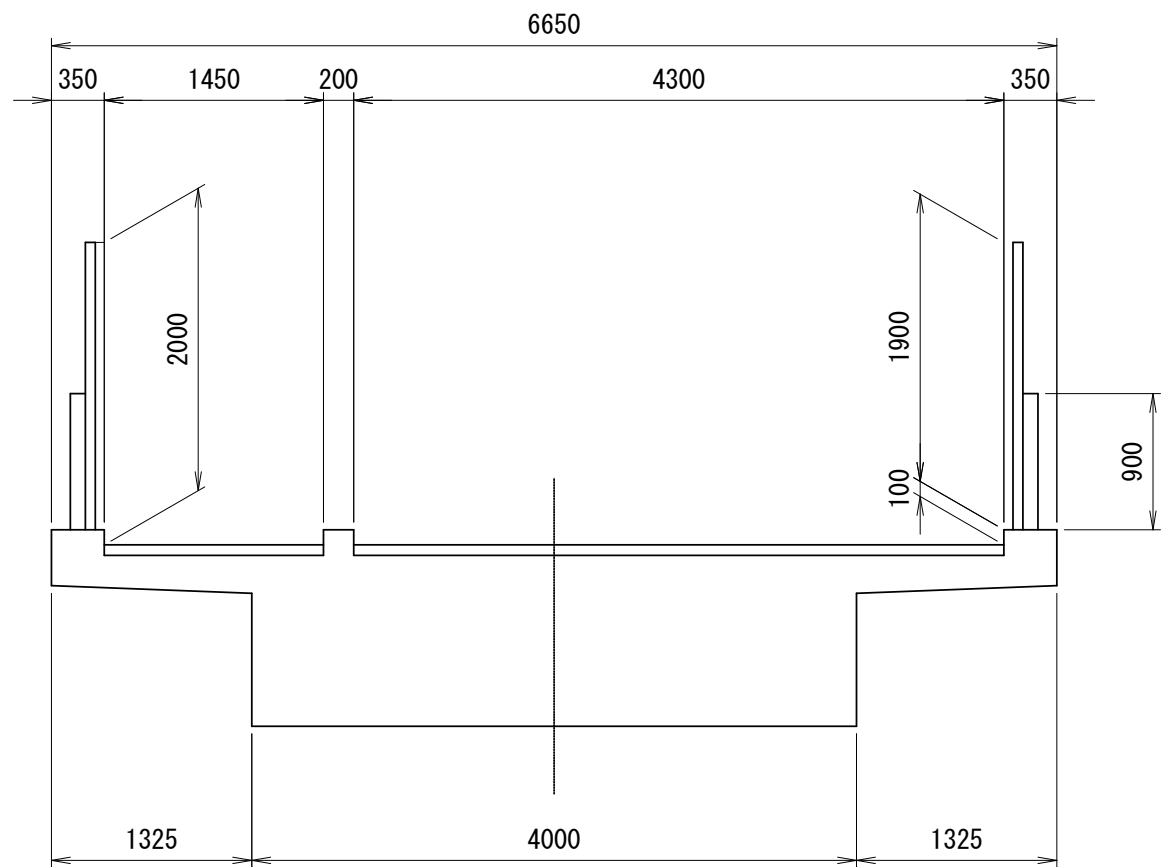
平面図(上面)
S=1:200 (A1)
S=1:400 (A3)



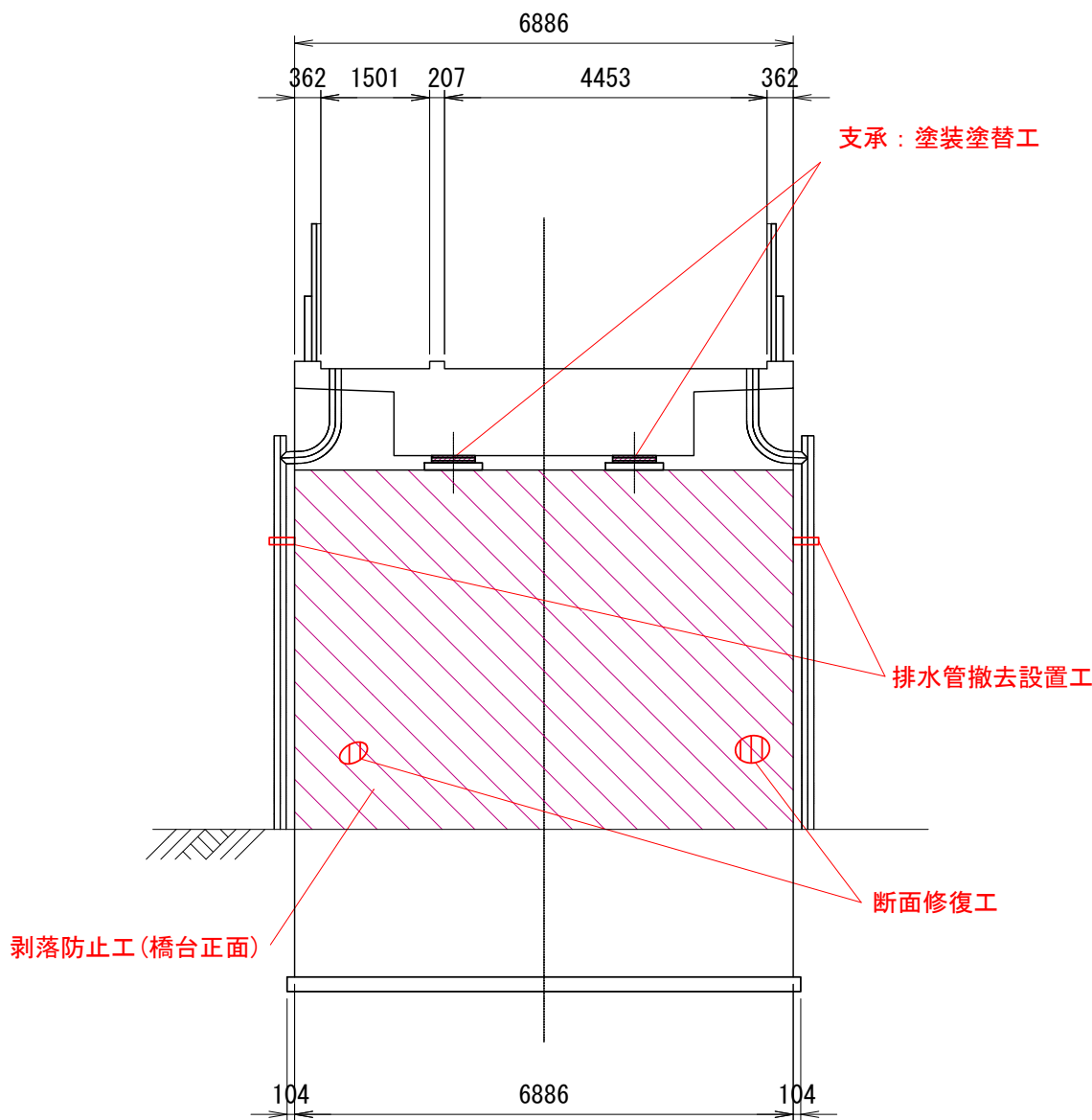
平面図(下面)
S=1:200 (A1)
S=1:400 (A3)



上部工断面図
S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



A2橋台(上り線)
S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



補修内容

対象部材	損傷内容	対策工
支承(本体)	腐食、防食機能の劣化	塗装塗替工
地覆	剝離・鉄筋露出	断面修復工
主桁	剝離・鉄筋露出	断面修復工
床板	剝離・鉄筋露出	断面修復工
排水管取付金具	腐食	排水管撤去設置工
橋台	剝離・鉄筋露出	断面修復工
上部工・橋台	第三者被害	表面被覆工

塗装仕様(Rc-II塗装系)(はけ、ローラ)

塗装工程	塗料名	単位使用量 (g/m^2)	塗装間隔
素地調整	2種711	—	4時間以内
防食下地	耐塩害用有機ジンクリッチペイント	300	1日～6ヶ月
防食下地	耐塩害用有機ジンクリッチペイント	300	1日～6ヶ月
下塗	弱溶剤形 耐塩害用変性珪酸樹脂塗料	200	1日～30日
下塗	弱溶剤形 耐塩害用変性珪酸樹脂塗料	200	1日～30日
上塗	弱溶剤形 耐塩害用厚膜形ふっ素樹脂塗料	190	1日～30日

橋梁諸元

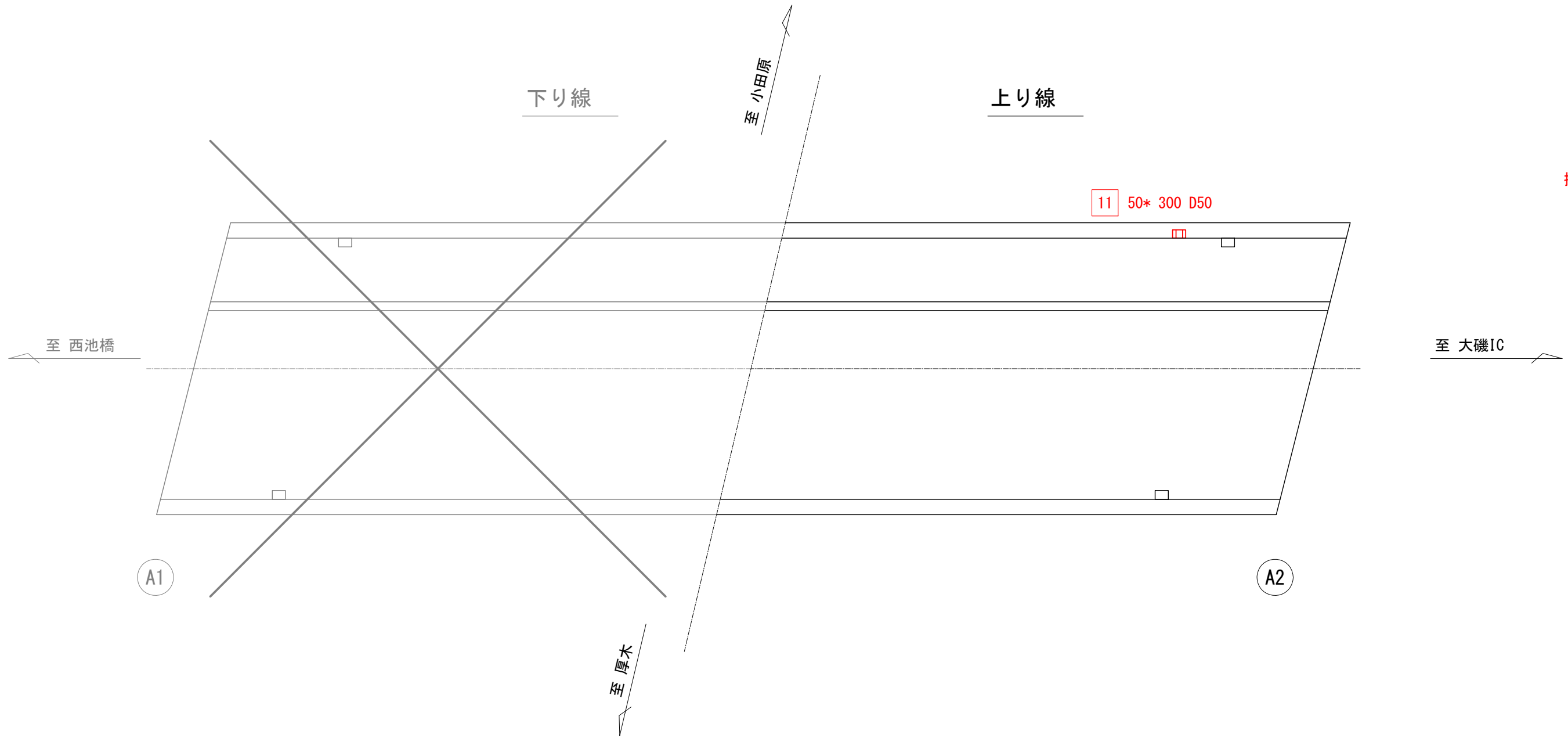
路線名	大磯町道幹線27号線	
橋長	25.600 m	
桁長	25.500 m	
道路規格	2等橋	
荷重	TL-14	
形式	P.C・箱桁橋	
有効幅員	車道: 4.300 m, 歩道: 1.450 m	
コンクリート	床版	$\sigma_{ck} = \text{N}/\text{mm}^2$
	下部工	$\sigma_{ck} = \text{N}/\text{mm}^2$
適用示方書	プレストレストコンクリート設計施工指針 昭和36年 8月	

工事名	橋梁長寿命化修繕工事(生沢架道橋他1橋)		
施工箇所	大磯町 生沢 地先		
図面名	補修一般図 生沢架道橋(旧)		
縮尺	図示	図面番号	3/7
大磯町 都市建設部 道路課			

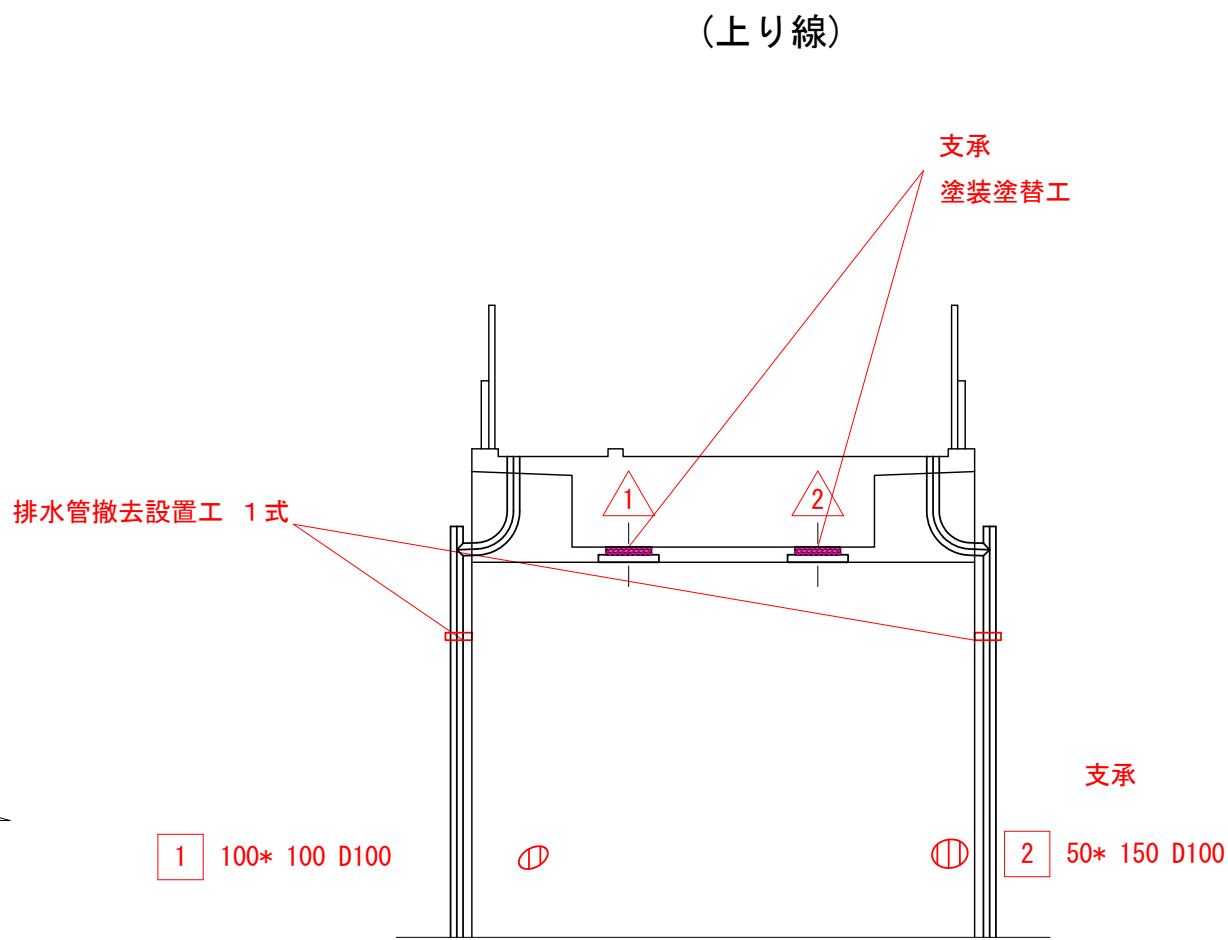
補修工詳細図

生沢架道橋(旧)

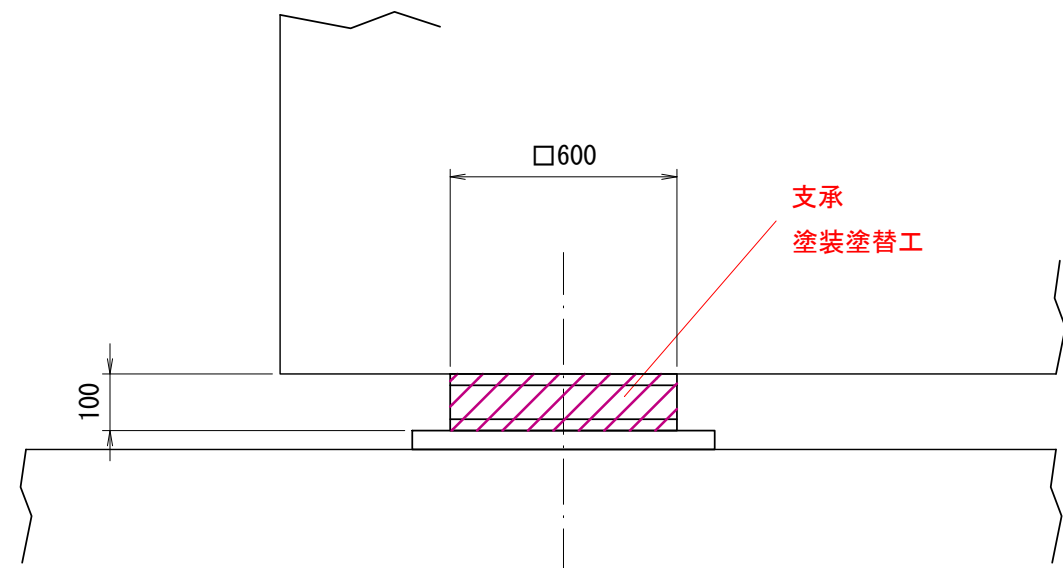
橋面 平面図
S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



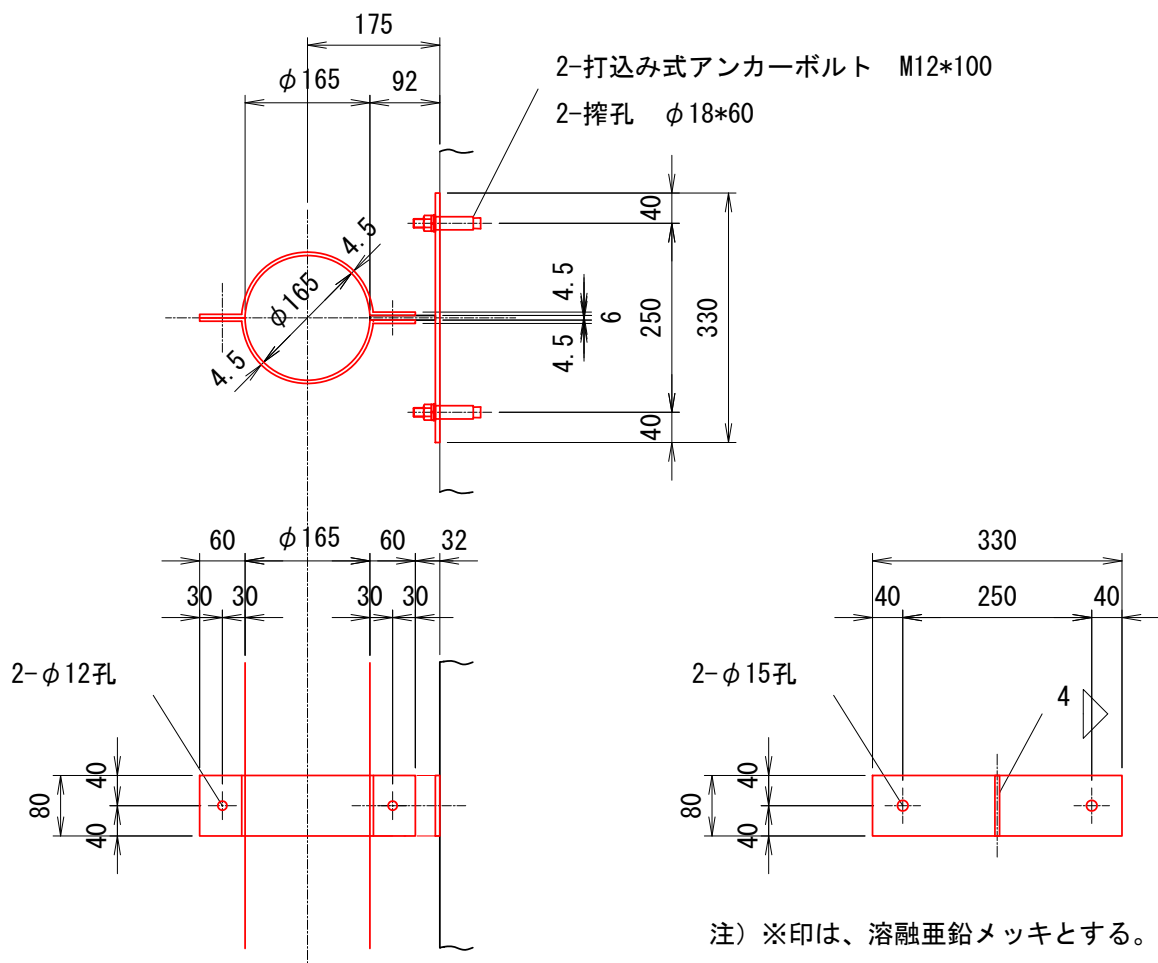
A2 橋台
S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



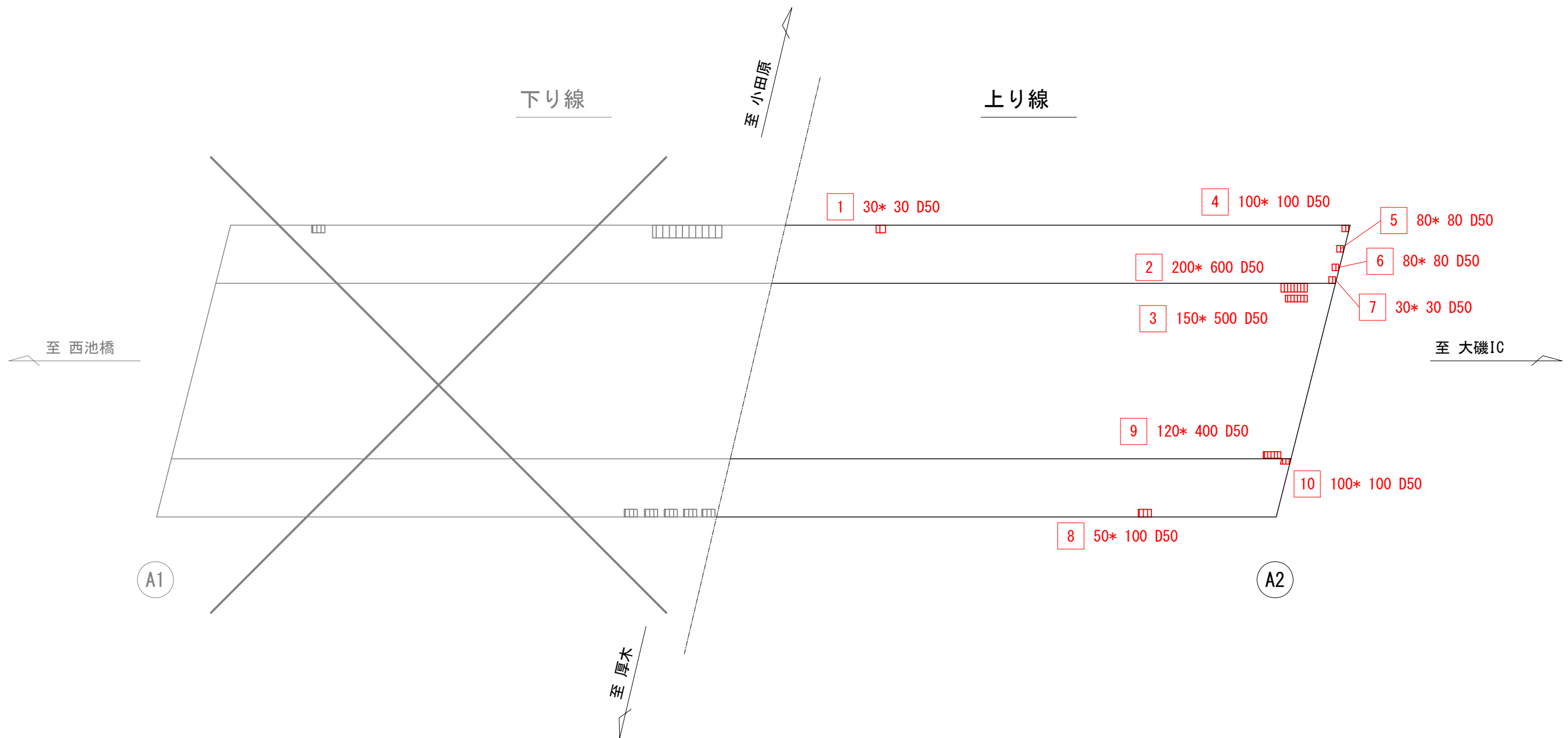
支承塗装塗替工
S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



排水管取付金具詳細図
S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)



桁下 平面図
S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



上部工：断面修復工

部材	No	補修名	損傷名	損傷数量			箇所数	面積 (m2)	体積 (m3)
				幅 (mm)	長さ (mm)	深さ (mm)			
地覆	1	断面修復工	剥離・鉄筋露出	30	30	50	1	0.001	0.000
主桁	2	断面修復工	剥離・鉄筋露出	200	600	50	1	0.120	0.006
主桁	3	断面修復工	剥離・鉄筋露出	150	500	50	1	0.075	0.004
床版	4	断面修復工	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.010	0.001
床版	5	断面修復工	剥離・鉄筋露出	80	80	50	1	0.006	0.000
床版	6	断面修復工	剥離・鉄筋露出	80	80	50	1	0.006	0.000
床版	7	断面修復工	剥離・鉄筋露出	30	30	50	1	0.001	0.000
床版	8	断面修復工	剥離・鉄筋露出	50	100	50	1	0.005	0.000
主桁	9	断面修復工	剥離・鉄筋露出	120	400	50	1	0.048	0.002
床版	10	断面修復工	剥離・鉄筋露出	100	100	50	1	0.010	0.001
地覆	11	断面修復工	剥離・鉄筋露出	50	300	50	1	0.015	0.001
合計								0.297	0.015

※ □ 数字は断面修復工箇所を表す。

損傷の凡例

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰	
剥 離		漏 水	
鉄筋露出		その他	
うき			

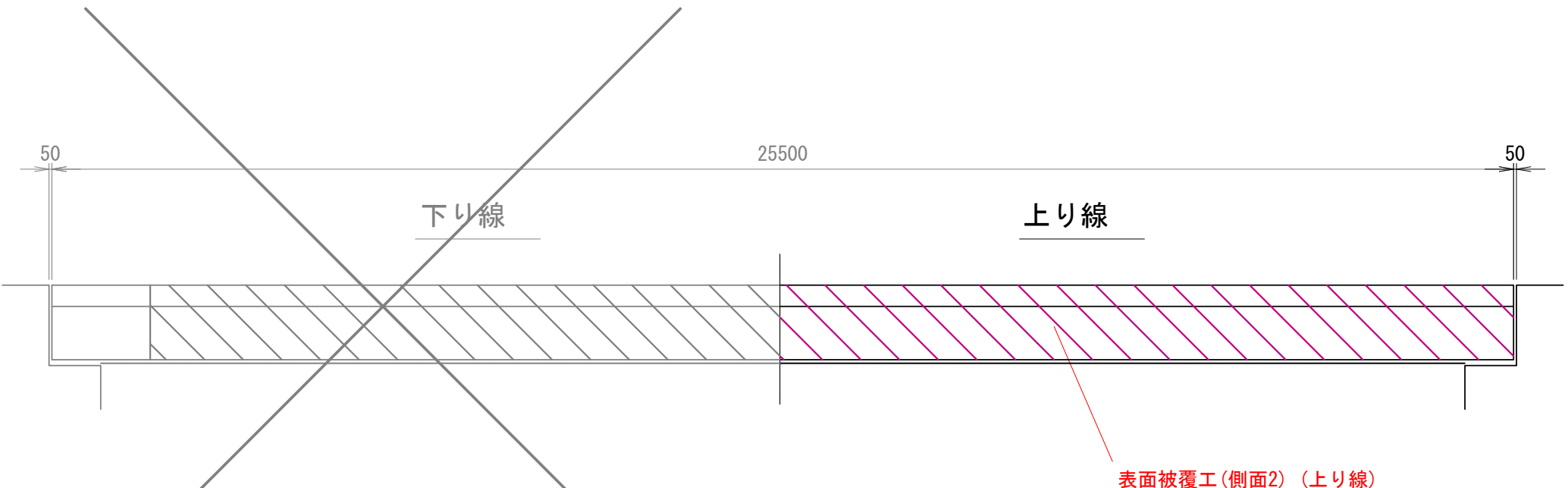
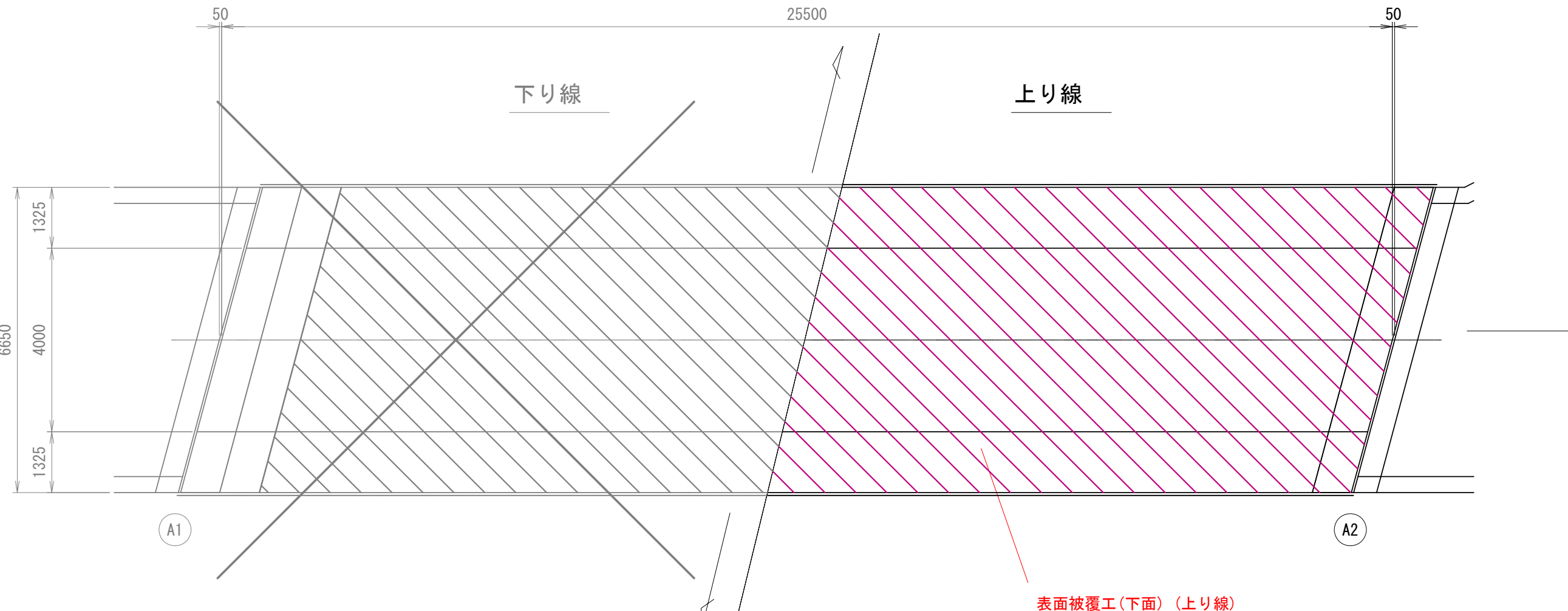
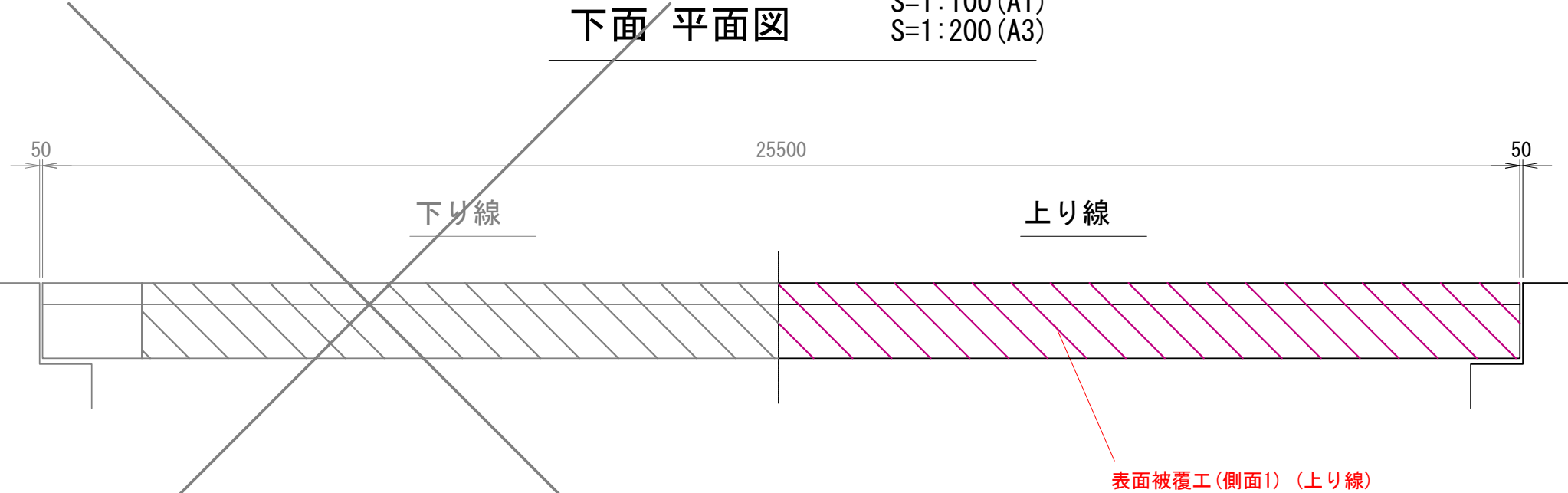
工事名	橋梁長寿命化修繕工事(生沢架道橋他1橋)		
施工箇所	大磯町 生沢 地先		
図面名	補修工詳細図 生沢架道橋(旧)		
縮尺	図 示	図面番号	4/7
大磯町 都市建設部 道路課			

生沢架道橋(旧)

上部工

下面/平面图

S=1:100 (A1)

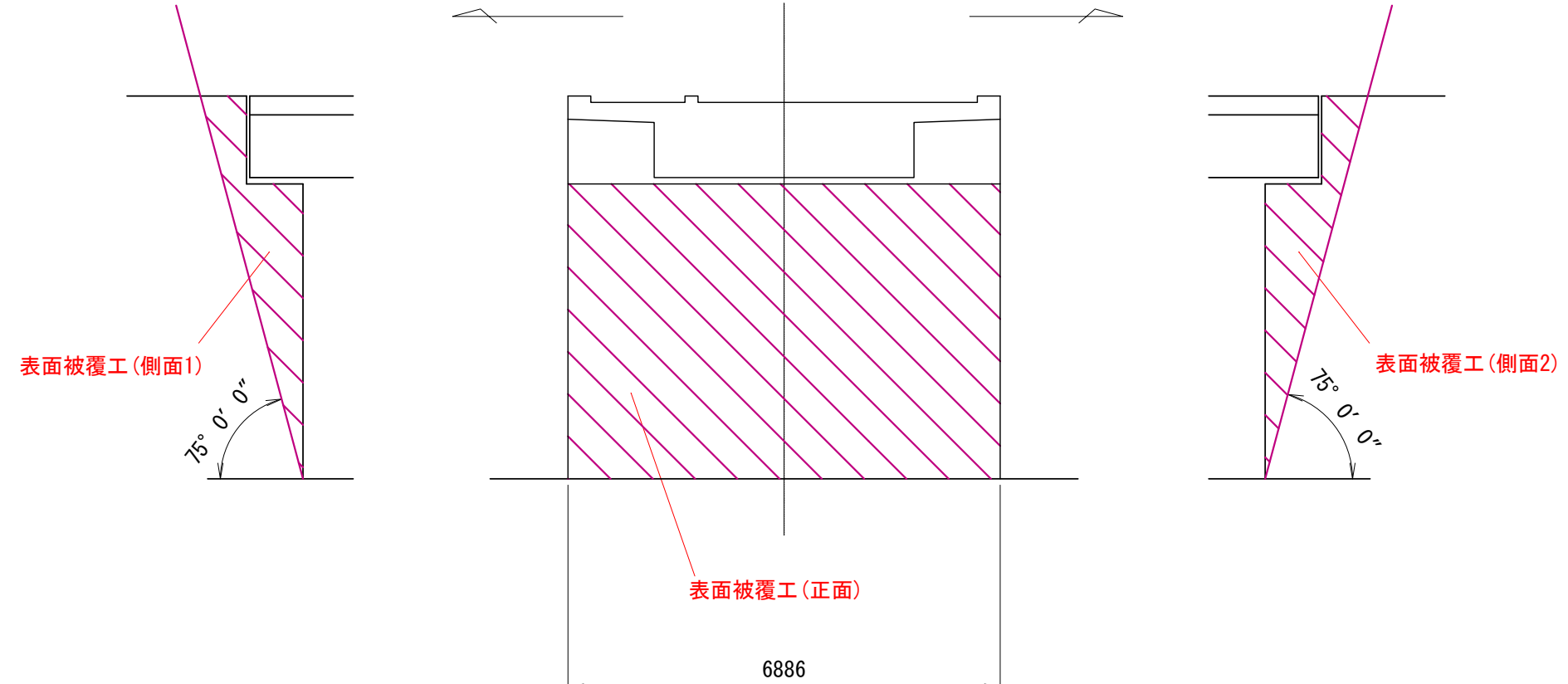


下部工

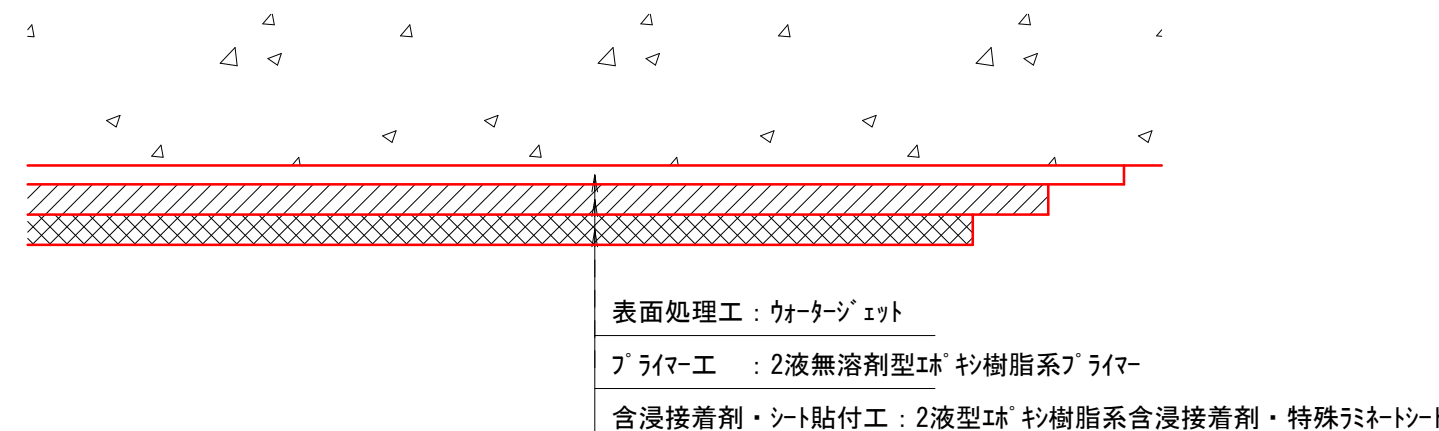
A2 橋台

S=1 : 100 (A1)

(上り線)



表面被覆工詳細図(参考)



注

NEXCOの「構造物施工管理要領」に適應規格の製品とする

上部工・下部工：表面被覆

種 類		側面1	下面(正面)	側面2	数 量(m2)	備 考
表面被覆工	上部工	16.6	85.1	16.6	118.3	
	下部工	3.7	32.4	3.7	39.8	
	合 計				158.1	※CAD求積による

工事名	橋梁長寿命化修繕工事(生沢架道橋他1橋)		
施工箇所	大磯町 生沢 地先		
図面名	表面被覆工詳細図 生沢架道橋(旧)		
縮尺	図 示	図面番号	5/7

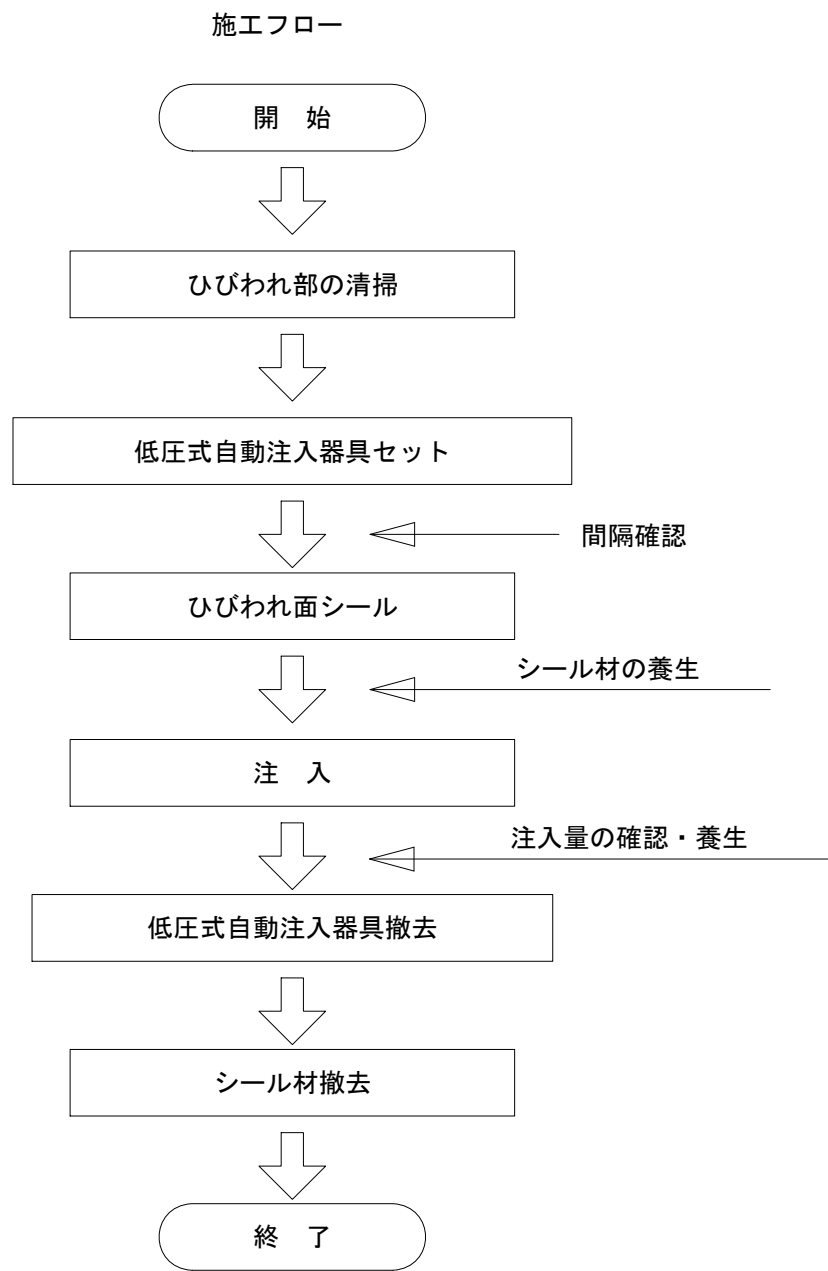
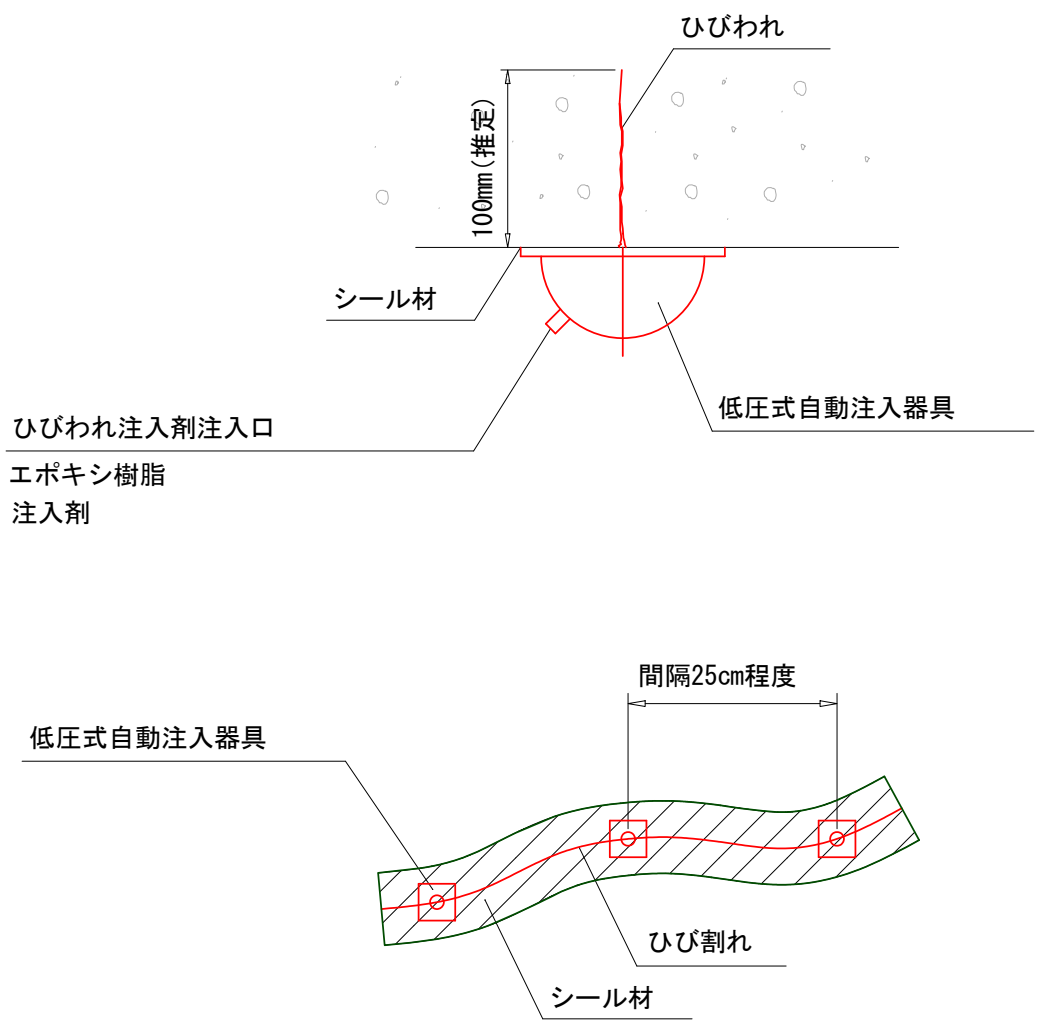
大磯町 都市建設部 道路課

補修詳細図

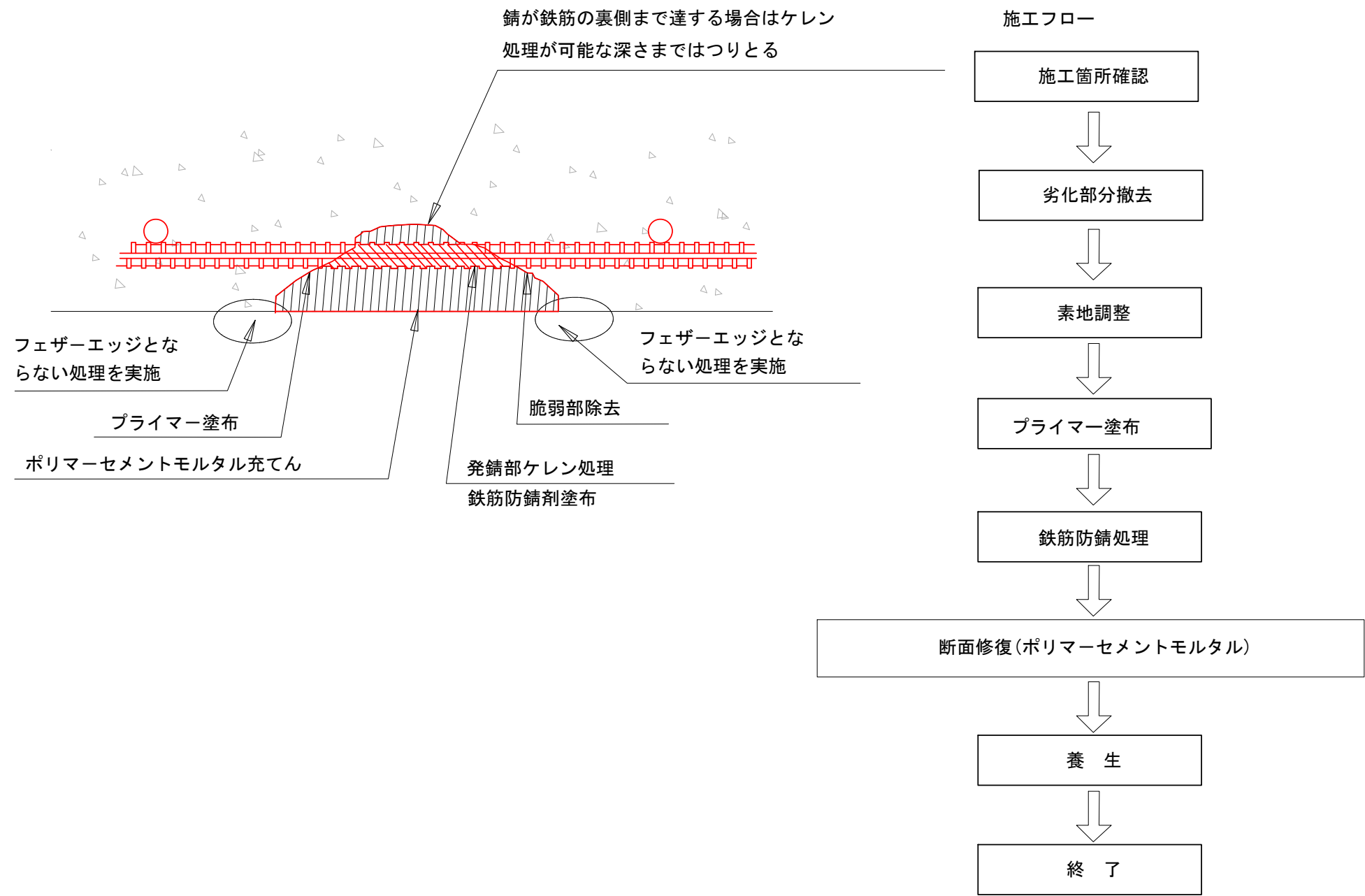
生沢架道橋・生沢架道橋(旧)

ひび割れ補修工

(ひびわれ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満)
(注入圧力0.4MPa以下の低圧低速注入工法)



断面修復工(左官工法)



注)

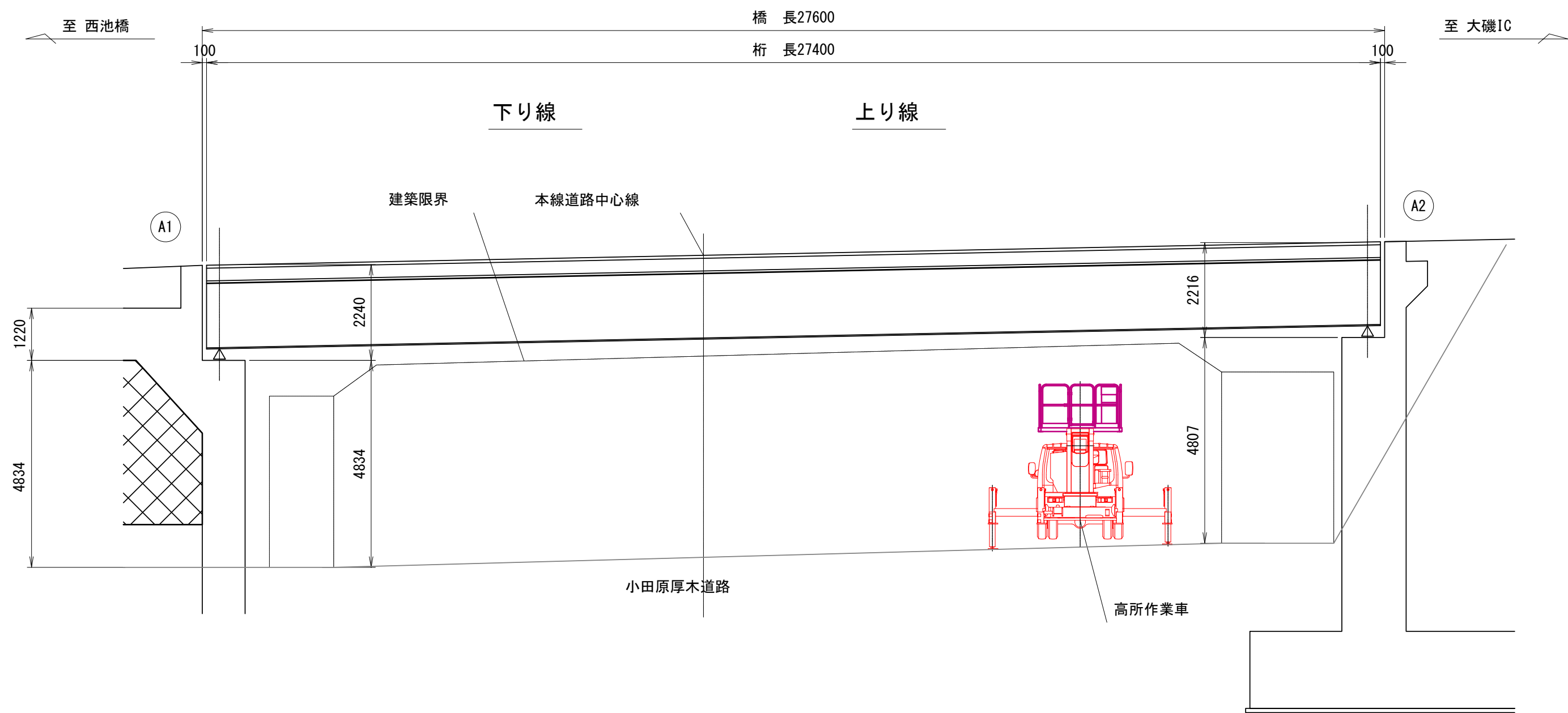
- 施工前に必ず現地寸法を確認し、塗装範囲及び数量調査を協議のうえ施工すること。
- 図中詳細寸法は現地計測のうえ決定すること。
- 施工時の交通規制は、可能な限り供用可能とすること。
- パテ補修部の素地調整については2種ケレン以上とし、旧塗膜、さびを除去し鋼材面を露出させること。
- ケレン困難箇所のみ下地材併用とする。
(適切ケレン箇所においては下地材不要)
- 素地調整後から下地材までの時間は4時間以内・速やかに行うこと。
- 下地材施工前に塗布面の水分・油分汚れはあらかじめ十分に除去すること。
- 使用する塗装材は、上述基本物性の塗装材を使用し、材料の取扱い注意事項に留意すること。

工事名	橋梁長寿命化修繕工事(生沢架道橋他1橋)		
施工箇所	大磯町 生沢 地先		
図面名	補修詳細図		
縮尺	図 示	図面番号	6/7
大磯町 都市建設部 道路課			

仮設工(参考図)

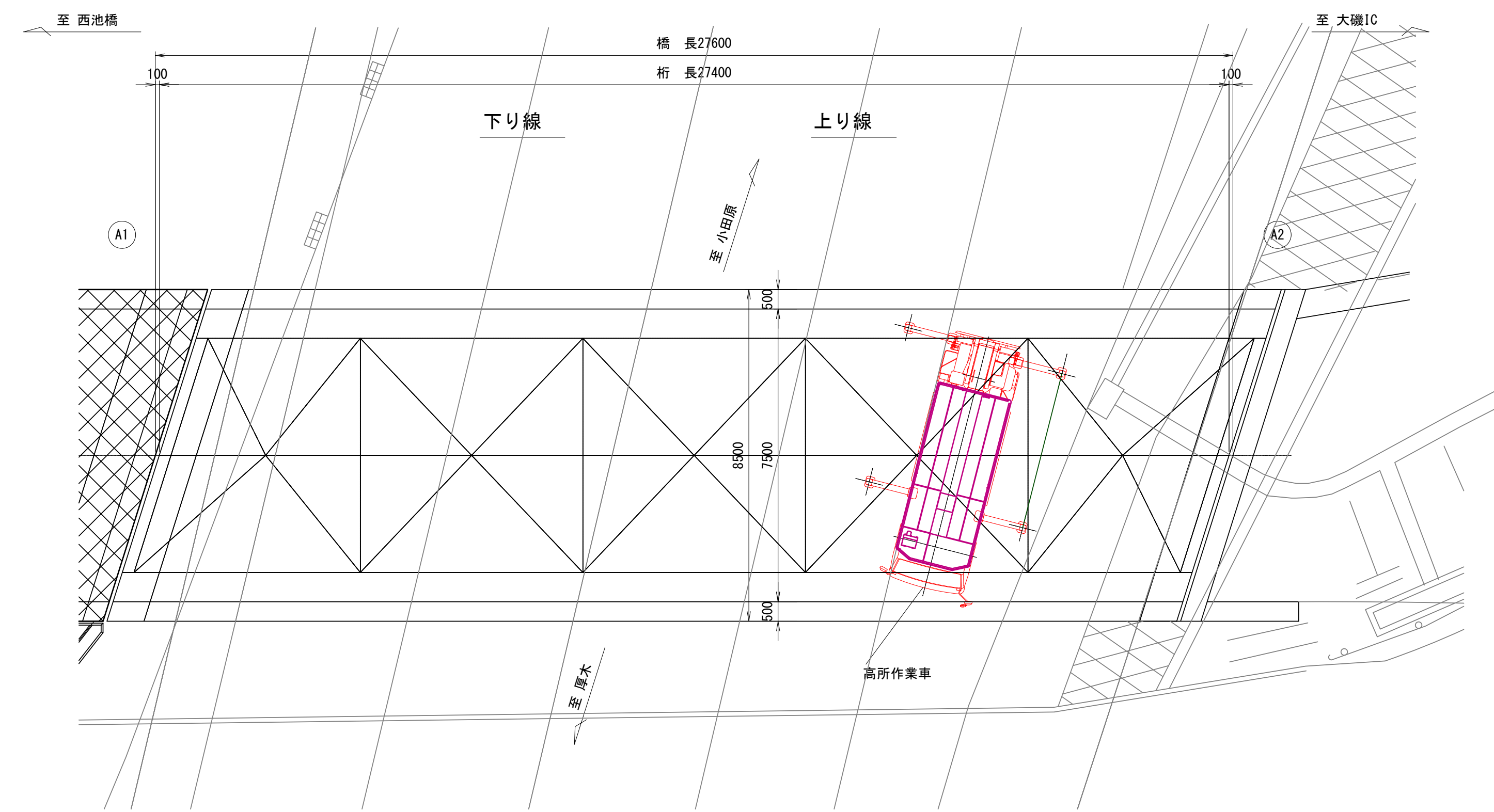
生沢架道橋

側面図 S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



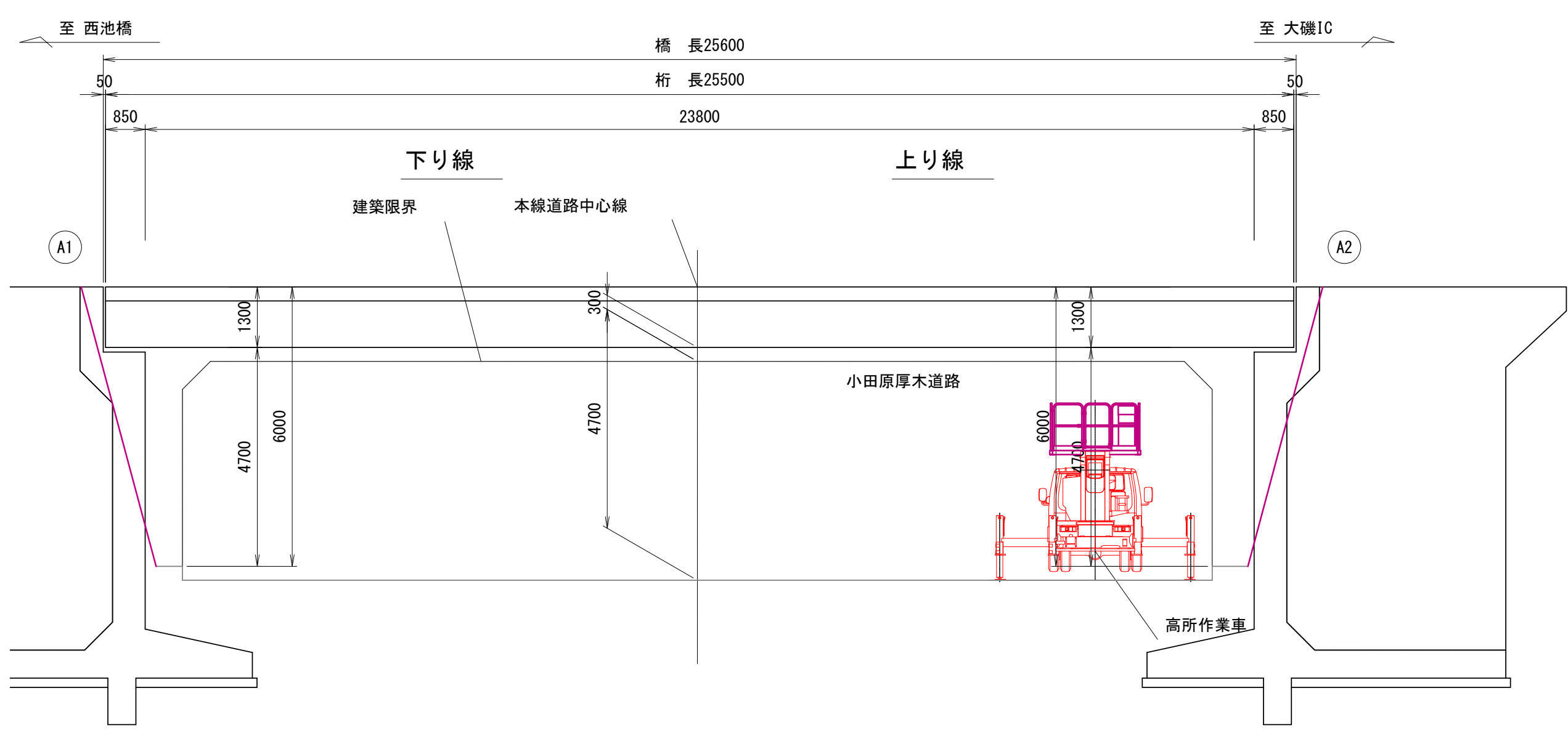
平面図

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



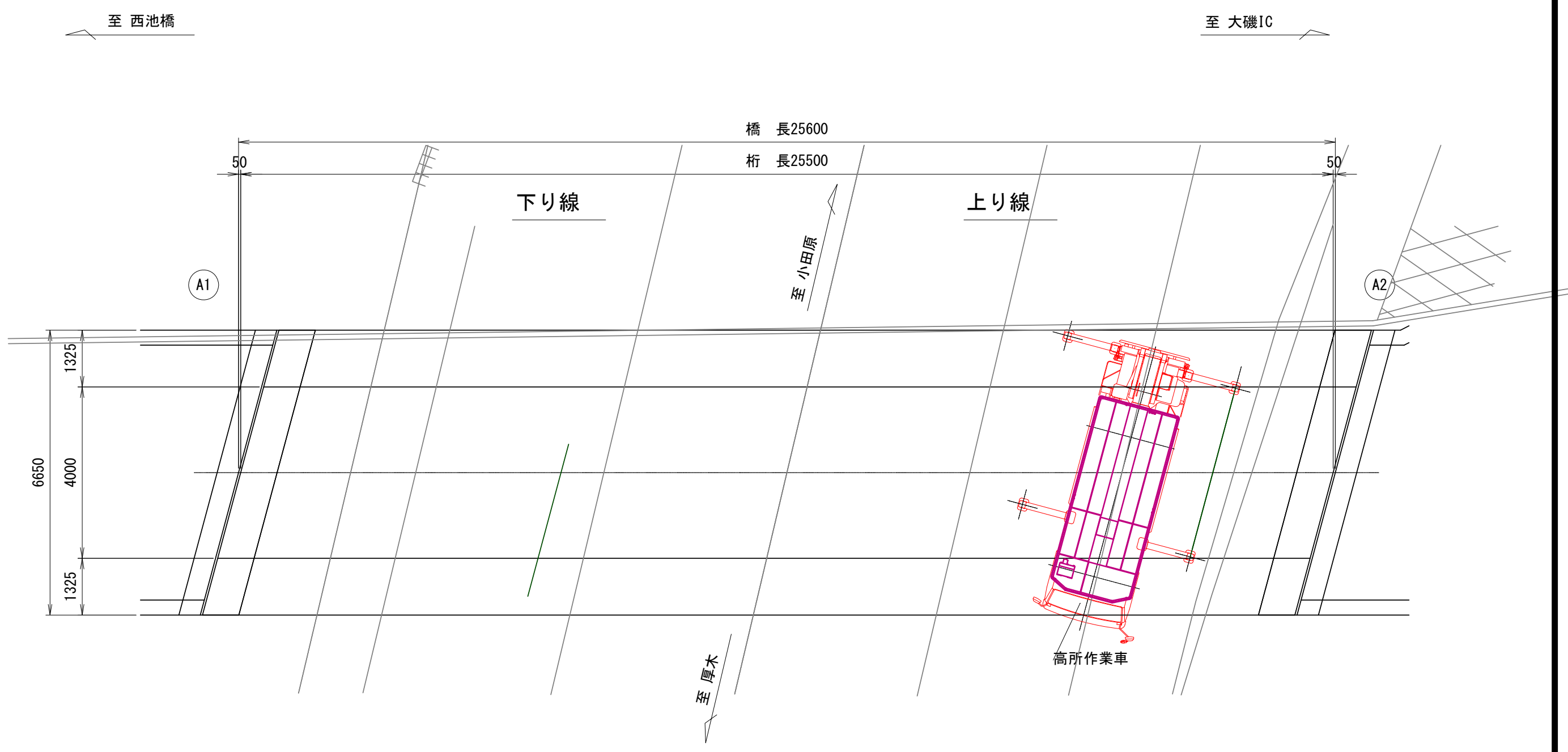
生沢架道橋(旧)

側面図 S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



平面図

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



工事名	橋梁長寿命化修繕工事(生沢架道橋他1橋)		
施工箇所	大磯町 生沢 地先		
図面名	仮設工(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	7/7
大磯町 都市建設部 道路課			